特定非営利活動法人　ＮＰＯもがみ
平成28年度　活動報告

自：平成28年4月1日
至：平成29年3月31日

Ⅰ　平成28年度の総括

最上地域に住み続け暮らしを維持することの課題、言い換えれば新庄・最上地域で当事者として自分の事として課題を認識し、何とか少しでも解決していこうと取り組む個人や団体そして地域コミュニティのあり方を、多方面から考え続けた1年でした。誰もがもっといきいきと暮らしていける地域にしていくために、深く思慮し展望をもち周囲を巻き込みながら共に行動をおこしている実践者の方々にも出会い、多くの教示を受けた1年でもありました。

特に地域コミュニティの存続への懸念や危機感は、平成の大合併をせず「モガミは１つ１つ」と選択したたくさんの地域リーダーの共通認識となっています。平成28年度に取り組んだ諸事業は、これらの懸念や危機感に一筋の道しるべを与える取り組みとなったのではないかと思われます。人の意識改革に時間はかかりますが、行動を変えるには更に時間を要します。しかし当法人として、丁寧な話し合いの場を保障し地域の可能性を見通し、自立的な地域運営のためのサポートをすることが、新たな地域社会の創造に繋がる可能性を見いだした年でした。

エコロジーガーデンを会場に取り組んでいる「キトキトマルシェ」が5年の実績を評価され山形県の「輝けやまがた若者大賞」や「やまがた公益大賞」を受賞できたことは、推薦団体として嬉しいことでした。加えて、事業成果としてこれまで発刊した冊子類が他地域他組織の事業参考にされたと推察される事例や問合せもある等、中間支援組織として先駆的実績を積むことが出来ました。

設立から15年を迎えた当法人のこれまでの様々な事業を磨きあげていく必要があります。さらには、会員の方々の持つ専門性や関心事を事業の中で活かすことができる戦略方針が組織的に求められ、その環境づくり等が課題として挙げられます。

Ⅱ　運営に関する事項

1　通常総会の開催

◆第14回通常総会（平成28年度）

日時：平成28年5月30日（月）午後7時~8時30分

会場：ＢＡＲ－Ｄ（玄柳館2Ｆ）

議案：第1号議案　平成27年度活動報告　財産目録　貸借対照表
活動計算書　計算書類の注記
及び監査報告　承認

第2号議案　平成28年度活動計画　承認

第3号議案　平成28年度活動予算　承認

2　会議の開催

1）理事会の開催

第1回理事会

日時：平成28年5月30日（月）午後6時30分～7時20分

会場：ＢＡＲ－Ｄ（玄柳館2Ｆ）

議案：第14回総会付議事項の審議と承認

第2回理事会

日時：平成28年7月11日（月）午後6時30分～7時45分

会場：新庄市民プラザ　第2研修室

議案：財務委員会の件

2）事業推進会議の開催

事業担当者会議（行政）：8/5　8/22　9/5　10/7　10/26　12/20　2/15（7回）

業務担当者会議（内部）：9/2　10/13　11/21　11/28　1/17　1/24　1/26（7回）

3　事務局管理

1）事務室

新庄市エコロジーガーデン一室を行政財産目的外使用許可を得て事務室として使用

2）事務局体制

（1）業務時間　平日　午前9時から午後5時

冬期（12月から3月）午前8時30分～午後4時30分

（2）理事長の駐在　平日の毎日

（3）事務局

統括業務・よろず相談担当：沼野

会計総務担当：押切（豊）

情報発信・ＨＰ担当：工藤

3）会員管理

正会員　14名　（個人14名）

4　事業担当

1）地域社会と私のためのよろず相談事業：沼野

2）地域コミュニティ活性化支援事業：井上　工藤　沼野

3）地域未来フォーラム事業：工藤　長沢

Ⅲ　活動に関する事項

1　自主事業

1）地域社会と私のためのよろず相談事業

実施場所	本法人事務室　及び　ぷらっと
開催日数	17回（原則　月2回　第2、第4水曜日）
相談者数	38名（男　14名　女　24名）　　個人　35人　　団体　3団体
主な内容	（1）行政の嘱託職員の職務と取扱に関する相談

	（２）情報交換（活動資金、広報、イベント時の参加者集め、）
	（３）指定管理受託事業所の人材育成に関する相談 （受託事業所任せによる公共サービスやスタッフの資質低下による不安等）
	（４）行政の市民活動に関する認識が進まないことに関する危機感など
	（５）町内会運営に関する諸相談
	（６）ＮＰＯ法人の会計相談　等

２）交流連携事業

（１）新庄市エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会に参画

目　　的	新庄市エコロジーガーデンの施設の永続的な保存と有効的な利活用を推進し、多くの人が集い市民に開かれた施設としていくため、定期的にイベントを開催し、交流の拡大を図る。
構成団体	しんじょう産地直売所運営協議会、新庄亀綾織伝承協会、新庄ひつじネットワーク、花の風の会、遊び工房プロジェクト、花まるプロジェクト、キトキトマルシェ、（特）ＮＰＯもがみ・新庄市商工観光課（事務局）
各種イベント	①キトキトマルシェ（5/15~11/20全7回）開催日毎にテーマを決めて実施
	集客数：12，135人（昨年比20％増）出店数：293件（昨年比14％増）
	売上額：10，277，000円（昨年比24％増）
	②シルクロードネットワークフォーラムｉｎ新庄（6/25~6/26）
	③キトキトマルシェ5周年記念祭（7/17）
	④グラウンドワークセミナー（7/23）
	⑤キトキト環境芸術祭（9/5~9/18）
	⑥山形ビエンナーレ「山形じゃあにい」　等
受賞実績	①輝けやまがた若者大賞受賞（山形県）
	②やまがた公益大賞受賞（山形県）
	③先人が築いた歴史を次の世代へ～ 手づくり郷土賞国土交通大臣表彰受賞（国土交通省）

（２）やまがた避難者支援協働ネットワークに参加（H25~）

目　　的	東日本大震災により県内に避難されている方々への中長期的な支援に関し、多様な主体による情報の共有、交換を図り、相互に連携・協働しながら避難ニーズにきめ細やかに対応した支援を推進する。
事務局	山形県危機管理課復興・避難者支援室
内　　容	①実行委員会の開催：4/22（金）6/6（月）7/26（火）1/13（金）　3/1（水）
	②避難者相談・交流会の実施：6/18（土）10：30~15：00ビッグウイング
	③避難者と地域とのつながりを考える意見交換会：10/5（水）県庁
	④東日本大震災追悼・復興祈念事業キャンドルナイト追悼・復興への祈り：3/11（土）文翔館　参加者200名

（３）最北地区ボランティアの輪連絡会議に参加

目　　的	最北地区におけるボランティア及びボランティアグループの交流、情報交換等の普及啓発活動を行い、ボランティア活動の活性化及びボランティア相互の連携強化を図る。
事　務　局	村山市、尾花沢市、東根市、新庄市の各社会福祉協議会が1年交替
構成団体 24団体	最北地区社協１２　あおぞら　ゆりかご会　向町婦人ボランティア 観光案内人（ボランティアガイド）大石田町福祉ボランティアの会 協働による社会貢献支援活動推進協会　村山市ボランティア連絡会 西堀福祉会　結　快生　ＮＰＯもがみ

（４）困難を抱える女性のネットワーク会議に参加

主　　催	（認特）山形創造ＮＰＯ支援ネットワーク
内　　容	平成28年度内閣府地域における女性の活躍推進事業であり、ＤＶ被害者や一人親が県内で多様な支援が受けられるように、各分野のＮＰＯが協働で支援環境づくりへの参加を促し、広域的重層的なネットワークを構築するための調査に協力した。
成　　果	困難を抱える女性のネットワーク会議を発足させ、当該会議に参加した。まとめた冊子にＮＰＯもがみの活動が掲載され、様々な視点での取り組みよる支援活動の紹介に繋げた。

（５）地域に根ざした市民活動を支援するセミナーに協力

主　催	（認特）山形創造ＮＰＯ支援ネットワーク		共催	荘内銀行ふるさと創造基	
期　日	平成29年1月26日	会　場	新庄市民プラザ	参加者	28名

３）地域課題に対応する事業

（１）地域社会と私のためのよろず相談事業にて対応

（２）受託事業にて対応

①地域コミュニティ活性化支援事業

②地域未来フォーラム事業

２　受託事業

１）地域コミュニティ活性化支援事業（最上地域）　　（委託先：山形県企画振興部）

期　間	平成28年7月1日から平成29年2月28日
目　的	主体的な地域づくり活動へ支援及び人材育成を行い、地域コミュニティの活性化を図ると共に、最上地域での支援体制・相談窓口を一元化し、広域的・効率的な地域づくり支援体制（中間支援プラットフォーム）の構築を目指し安心して暮らし続けることが出来る生活圏の維持・再構築に繋げる。
内　容	（１）地域づくり活動支援事業 ①助言、指導等のアドバイス

ｉ「地域社会と私のためのよろず相談窓口」を設置すると共に、ＨＰや広報ポスター等により広く周知に努め、より多くの地域住民からの情報収集により相談対応。相談者には「地域に根ざした市民活動を支援するセミナー」や「地域づくり実践者研修ｉｎもがみ」の研修会を案内し出席に繋げた。

②有識者や外部協力者の紹介、行政との連絡・調整等の課題対応支援

ｉ市町村訪問による情報収集を行い求める支援等の把握に努めと同時に有識者や外部協力者のピックアップを行った。

ⅱ当法人の役員の専門性を整理し、課題対応支援を検討し、行政との連絡・調整等を図った。

ⅲ住民主体の地域づくりについて金山町がモデル地区として挙げた中田地区について町役場と連絡調整を図り中田ファンクラブの創設に繋げた。中間支援プラットフォームの共通理解を求め今後の展開に参画していく。

期　日	内　　容	会　場	参加者
H28 12/20	中田未来会議、中田地域計画策定、（特）なかだ倶楽部等について共通理解を図り、今後の推進に向け協議。	マルコの蔵	10名（役場、なかだ倶楽部、当法人）
H29 1/13	中田地区における小さな拠点づくりについての話し合い。今後、この集まりを中田ファンクラブとし、コア会議メンバーを決め、情報共有を図りながら進捗。	旧中田小学校	28名 区長、役場、なかだ倶楽部、芸工大等）
2/24	ＮＦＣＣメンバー会議 旧中田小学校活用のあり方、計画検討、組織等の検討。	旧中田小学校	15名
3/22	ＮＦＣ全員による会議の開催	旧中田小学校	全員

③その他課題の解決のために必要な支援

ｉ新設された団体の企画事業に参加し情報収集とした。

升形の未来を創る会、最上地域女性応援団、ＦＦクラブ

地域づくり応援団キラッとＯ～ＲＡ☆ＤＡ

ⅱ地域づくり団体の活動資金獲得セミナー開催を最上にても行うよう主催者に働きかけ、新庄市内での実施に至ると共に、相談者がセミナーを受講し助成金の申請をも行った。

ⅲその他に新庄市区長ブロック研修座談会に出席し、地域コミュニティの問題や区長の悩み等を通じ課題を把握した。

ブロック	新庄中学校、明倫中学校、八向中学校、萩野学園
主 課 題	人口減による町内会活動の停滞と再編成、自主防災組織活動、高齢者と緊急時の対応、空き家、区長の選任と手当、地域行事、

	町内会運営体制、自然災害への意識の高まり、役員決めを乗り越えねば地区は生き残れない　等

（２）中間支援体制構築に向けた調査研究事業

①当法人のもつ中間支援機能を洗い出し整理し、不足機能と補足を検討し今後の中間支援を行うに際し、当法人がとりうる体制図を作成した。
②地域コミュニティ活性化に向け連携すべき関係機関を検討し、最上地域における実現可能な体制を検討した。

（３）人材育成及び活用事業

「地域づくり実践者研修ｉｎもがみ」開催により以下を実施した。

日　時	平成29年2月13日（月）13：30~16：00
会　場	最上総合支庁203号会議室
テーマ	地域づくり実践者研修ｉｎもがみ ～持続可能な地域づくりは　住民主体が鍵！～
講　師	（特）きらりよしじまネットワーク事務局長　高橋由和氏
参　加	32名
成　果	①おこし協力隊や活動実践者、市町村担当者等を対象に研修を行うことで、実践者の資質向上に向けた人材育成となった。 ②研修終了後、講師及び参加者による名刺交換を行い、ネットワーク構築に繋げた。 ③参加者アンケートにより評価を行った。

課　題	地域コミュニティ活性化のためには、今後も継続的に取り組む必要があり、住民の主体性を育むシステムの検討と実践の積み重ねが必要である。

２）地域未来フォーラム～地域づくり・移住者受入れ環境づくり～開催事業

（委託先：山形県最上総合支庁）

期　間	平成29年2月8日から平成29年3月31日
目　的	先進的な取り組み事例の普及・拡大を図り、住民主体の地域づくりを進めるために、将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることや移住者の受入促進の環境づくりの拡大のためにフォーラムを開催する。

内　容

（１）地域未来フォーラムの開催

開催日時	平成29年3月15日（水）午後1時30分から午後4時30分		
会　場	ゆめりあ2階会議室	参加人数	58人
①	地域運営組織形成に向けた合意形成の説明	県市町村課	
②	先導的な事例をもとに地域運営組織形成のプロセスの説明	県市町村課	
③	中間支援プラットフォームの説明	県市町村課	
④	移住者と地域住民との相互理解の説明	川北秀人氏	

	⑤	地域づくり実践者等による事例発表 1（特）なかだ倶楽部 2（特）ネイチャーアカデミー 3 地域づくり応援団キラッとＯ～ＲＡ☆ＤＡ	 理事長　栗田伸一氏 代表理事　矢口末吉氏 会長　早坂民奈氏
	⑥	地域づくり実践者等によるパネルディスカッション コーディネーター　ＩＩＨＯＥ代表川北秀人氏	
	（２）その他		
	①	フォーラム開催用チラシを作成（フルカラー、Ａ４程度サイズ、1000部し納品すると共に、当法人ＨＰに掲載し情報を発信し、行政や公民館等に配置し参加周知に努めた。	
	②	フォーラム開催用ポスターを作成（フルカラー、Ａ１程度サイズ、15部）地域の魅力発信ポスターを作成（フルカラー、Ａ１程度サイズ、5部）し 納品。	

事業の成果

①最上地域の高齢化や人口減少による地域の状況をデータに基づき示すことで、現状認識を図ることができた。
②住民の創意工夫をこらした住民主体の地域づくりを活動事例として紹介することで先進的な取組事例の普及・拡大を図ることができた。
③受講者アンケート結果により、本フォーラム内容が参加者の意識向上につながり、住民主体の地域づくりの実践行動に結びつく可能性が高いことが推測された。
④将来にわたり地域住民が安心して暮らし続けることや、地域の魅力を発信して新たな活気を生み出す移住者受入れを促進させる環境づくりの拡大に繋がった。
⑤最上地域における活動実践者の活動紹介を行うことにより、実践者の顔が見える、新しい住民主体の地域づくり活動に発展できることが予想された。
⑥当日の様子が新聞記事として掲載され、広く地域づくりや移住者受入れ環境づくりへの啓発に繋げることができた。

事業の課題

①本フォーラムは年度末で平日の開催となったため参加者条件が難しく、関心が高くとも出席できない人々があった。また、担当行政からも指摘された。
②年度途中や早期での開催を検討する等、期日の変更による参加人数の増加や波及効果等の事業成果はさらに大きいものとなる。
③最上地域での実践活動者が一堂に会し活動紹介を行うことが不十分であり、まだまだ必要と思われる。まずは、知ることから課題解決は始まる。

所感

①活動者による情報交換会等を通じて悩みや創意工夫・魅力を知ることで共感を得、今後の地域づくりの人材育成に繋がるものと考える。
②歴史や文化そして自然を学ぶだけではなく更に、地域で活躍している人々、継承保全や新たな可能性に向けて実践している人々等と直に触れあいコミュニケーションを図る中で、最上地域に誇りや希望を見出し、ここで生きていこうと決意や覚悟が生まれると実感させられた。

Ⅳ　行政等による各種委員会、審議会等への委員委嘱協力

所　轄　・　主　催	委　員　会　名
新庄市	①振興計画審議会委員 ②行財政改革市民委員会会長
最上広域市町村圏事務組合	①指定管理評価委員会
山形県	①県防災会議第8号委員 ②県立図書館協議会会長 ③県農村環境保全推進委員会 ④山形県ＮＰＯ推進委員会委員 ⑤平成28年度最上の元気力アップ地域づくり支援事業選定委員会 ⑥山形県郷土愛を育む活動推進事業ふるさと探求コンテスト審査員 ⑦山形県まちづくりサポーター ⑧最上地域農林水産業若者賞審査委員
山形県男女共同参画センター	①男女共同参画県民企画事業審査会審査委員長
その他	①東北地区ＥＳＤ教育プログラム策定委員会 ②公益信託荘内銀行ふるさと創造基金運営委員 ③新庄市社会福祉協議会評議員 ④山形いのちの電話評議員

財産目録

平成２９年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
普通預金			
きらやか銀行新庄支店	1,047,236		
未収金			
地域未来フォーラム	34,840		
流動資産合計		1,082,076	
２．固定資産			
（１）有形固定資産	0		
固定資産合計			
資産合計			1,082,076
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金			
インターネット使用料	3,991		
コピー機使用料（３月分）	1,361		
電話使用料（３月分）	2,919		
未払消費税	161,091		
諸経費			
流動負債合計		169,362	
負債合計			169,362
正味財産			912,714

貸借対照表

平成２８年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
普通預金	1,047,236		
未収金	34,840		
流動資産合計		1,082,076	
２．固定資産			
（１）有形固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,082,076
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	169,362		
預り金	0		
流動負債合計		169,362	
負債合計			169,362
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		753,732	
当期正味財産増減額		158,982	
正味財産合計			912,714
負債及び正味財産合計			1,082,076

活動計算書

平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　経常収益			
１．受取会費			
正会員受取会費	33,000		
賛助会員受取会費		33,000	
２．受取寄付金			
受取寄付金	55,000	55,000	
３．事業収益			
地域コミニティ	400,000		
地域未来フォーラム	699,840	1,099,840	
４．その他収益			
受取利息	18	18	
雑収益	178,665	178,665	
経常収益計			1,366,523
Ⅱ　経常費用			
１．事業費			
（１）人件費			
給料手当			
通勤手当			
法定福利費			
業務人件費	160,000		
人件費計	160,000		
（２）その他の経費			
諸謝金	289,800		
図書研修費	10,100		
印刷製本費	123,205		
旅費交通費	162,940		
通信運搬費	70,209		
消耗品費	14,596		
ＰＨ管理費	30,000		
水道光熱費	22,541		
賃借料	130,230		
租税公課	81,469		
講師弁当代	4,750		
その他経費計	939,840		
事業費計		1,099,840	
２．管理費			
（１）その他の経費			
図書研修費	6,000		
コピー代	4,574		
通信運搬費	20,727		
賃借料	4,000		
旅費交通費	0		
消耗品費	0		
減価償却費	0		
租税公課	72,400		
その他経費計	107,701		
管理費計		107,701	
経常費用計			1,207,541
当期正味財産増減額			158,982
前期繰越正味財産額			753,732
次期繰越正味財産額			912,714

財務諸表の注記

1．重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2．事業別損益の状況

事業別損益の状況は下記のとおりです。

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

〔税込〕（単位：円）

科　目	地域コミニティー	地域未来フォーラム	事業部門計	管理運営部門	合計
Ⅰ 経常収益					
1. 受取会費			0	33,000	33,000
2. 受取寄付金			0	55,000	55,000
3. 事業収益					
受託事業収益	400,000	699,840	1,099,840	0	1,099,840
自主事業収益					
4. その他収益					
受取利息			0	18	18
雑収益				178,665	178,665
経常収益計	400,000	699,840	1,099,840	266,683	1,366,523
Ⅱ 経常費用					
（1）人件費					
業務人件費	40,000	120,000	160,000	0	160,000
人件費計	40,000	120,000	160,000	0	160,000
（2）その他の経費					
諸謝金	60,000	229,800	289,800	0	289,800
図書研修費	5,000	5,100	10,100	6,000	16,100
印刷製本費	20,191	103,014	123,205	4,574	127,779
旅費交通費	113,000	49,940	162,940	0	162,940
通信運搬費	58,040	12,169	70,209	20,727	90,936
消耗品費	6,034	8,562	14,596		14,596
ＰＨ管理費		30,000	30,000		30,000
水道光熱費	7,841	14,700	22,541		22,541
賃借料	59,115	71,115	130,230	4,000	134,230
租税公課	29,629	51,840	81,469	72,400	153,869
講師弁当代	1,150	3,600	4,750		4,750
その他経費計	360,000	579,840	939,840	107,701	1,047,541
経常費用計	400,000	699,840	1,099,840	107,701	1,207,541
当期経常増減額	0	0	0	158,982	158,982

【役員及びその近親者との取引内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

〔税込〕(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
受取寄付金	55,000	35,000
活動計算書計	55,000	35,000